

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和3年6月10日
室蘭開発建設部
室蘭観光推進連絡会議

報道機関各位

インフラツーリズムの推進に向けた第一歩！

～「白鳥大橋インフラツーリズムによるツアー催行における
道路施設利用に関する協定」を締結します～

室蘭開発建設部と室蘭観光推進連絡会議は、国が管理するインフラ施設の活用による観光振興を通じて周辺地域の活性化に資することを目的に、国道37号白鳥大橋の施設の利用に関する協定を締結します。

つきましては、調印式を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 令和3年6月16日（水）13時30分から（30分程度）
- 2 場 所 室蘭市役所3階 議会第1会議室
- 3 出 席 者 室蘭市長 青山 剛
室蘭観光推進連絡会議 会長 石田 仁（（一社）室蘭観光協会 専務理事）
北海道開発局 室蘭開発建設部長 篠宮 章浩
- 4 調 印 者 室蘭観光推進連絡会議 会長 石田 仁（（一社）室蘭観光協会 専務理事）
北海道開発局 室蘭開発建設部長 篠宮 章浩
- 5 調印式次第 挨拶、趣旨説明、調印、フォトセッション
- 6 取材について 当日13時15分から13時30分まで、上記場所で受付を実施します。
なお、取材に当たっては、マスクの着用等、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策にご協力をお願いします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

地域振興対策官 畠山 浩和 電話 0143-25-7053(ダイヤルイン)

道路計画課長 仁平 陽一郎 電話 0143-25-7046(ダイヤルイン)

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



「白鳥大橋インフラツーリズムによるツアー催行における 道路施設利用に関する協定」の締結について

1 協定について

本協定は、室蘭観光推進連絡会議（以下「連絡会議」といいます。）が白鳥大橋を利活用した主塔登頂ツアー等を実施する際の施設の利用方法などの基本的事項を定めたものです。

本協定の締結により、連絡会議及び連絡会議と連携する事業者が催行する白鳥大橋を利活用した主塔登頂のツアー等を、より主体的に実施することができるようになります。

これにより、インフラ施設を理解していただくとともに、インフラ施設の観光資源としての利活用により室蘭地域における観光選択肢の拡大、地域活性化への寄与が期待されます。

なお、白鳥大橋は国土交通省が推進する「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」のモデル地区に選定されており、当プロジェクトの取組として展開する様々な企画やモニターツアー等の実施に当たっても、本協定に基づく主塔登頂ツアー等を基本としながら進めていく予定です。

2 協定の締結者

室蘭観光推進連絡会議 会長 石田 仁（（一社）室蘭観光協会専務理事）
北海道開発局室蘭開発建設部長 篠宮 章浩

3 その他

(1) ツアー等の具体的な実施内容につきましては、現在連絡会議において準備を進めております。決定次第、下記ウェブサイト等でお知らせします。

室蘭の観光情報サイト 「おっと！むろらん」

<http://muro-kanko.com/>

(2) 国土交通省が推進しておりますインフラツーリズムについての詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

インフラツーリズムポータルサイト

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/index.html>

(3) 白鳥大橋が「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」モデル地区に選定された際の報道発表については、下記をご参照ください。

国土交通省公式ホームページ内 報道発表資料（令和2年8月5日付け）

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000243.html